

調査企画書

～ 2015 年版電子写真消耗品市場動向マルチクライアントレポート～

『全世界市場における感光体の生産動向調査』

2015 年版

株式会社インターウォッチ

東京都千代田区神田須田町 1 - 8

パールビル

TEL 03 - 3526 - 6461

FAX 03 - 3526 - 6462

E-mail : interwatch@iwco.co.jp

日本国内メーカーによる感光体の生産量は、その品質の高さや、トナー/カートリッジや関連部材とセットでのサプライチェーンを組むことによるコスト削減、何より高耐久性商品や新規フレキシブルラインによる生産革新など新しい取り組みにおけるメインの拠点として、各社依然として高い生産割合を占めている。

また、一方で感光体のメーカー出荷金額も、下げ止まると言われ続けて4-5年は経つが、2015年に入った現在においても、新興国向け中心に依然として販売価格が下落している動きも見逃せないところである。

2015年版『全世界市場における感光体の生産動向調査』においては、例年通り「OPC」をはじめとする「種類別」の感光体生産推移から、「生産拠点別」、「カラー/モノクロ別」、「純正 OEM/汎用品向け別」生産推移といった具合に、各社における感光体の生産がどの分野にどれくらい力が入っているか、今後の注力分野はどこか、などといった戦略分析に至るまでカバーしている資料となっている。

本調査レポートが、電子写真消耗品ビジネスに関わる方々にとって、有効な指標となれば幸いである。

株式会社インターウォッチ
電子写真消耗品プロジェクトチーム

〔調査概要〕

A. 調査概略

1. 本調査はマルチクライアントによる調査である。
2. 御希望により報告書刊行後、報告会を実施。
3. 報告書を御購入頂いたクライアントに対するアフターサービス。

B. 調査対象品目

感光体ドラム/ベルト (OPC/a-Si/Se/他)

C. 調査対象先

1. 国内感光体メーカー (内製メーカー/外販メーカー): 9社
2. 海外感光体メーカー: 17社
3. 素管メーカー: 7社
4. その他関連部品/材料メーカー: 約10社

D. 調査対象期間

2010年～2017年予測 (1月～12月の暦年ベース)

E. 調査対象地域

全世界市場

F. 調査方法

1. 国内メーカーに対しては、調査対象先に対する直接訪問面接インタビュー
2. 海外メーカーに対しては、海外展示会における現地取材 (アメリカ、中国、他)
3. 公開されている統計等のオープンデータ

G. 調査期間

2015年7月～2015年8月

H. 調査報告書刊行予定日

2015年9月発刊予定

I. 調査報告書価格

¥ 400,000 (消費税別途)

目次

A.全体市場編	1
1.全世界における感光体生産量推移	1
1)生産数量推移	1
2)メーカー出荷金額推移	2
2.メーカー別感光体生産推移	3
1)生産数量推移	3
2)メーカー出荷金額推移	5
3.ドラム/ベルトタイプ別・メーカー別生産推移	7
1)OPCドラム	7
(1)生産数量	7
(2)OPCドラム出荷金額	9
2)a-Siドラム	11
(1)生産数量 (2)a-Siドラム出荷金額	11
3)Se/他ドラム	12
(1)生産数量 (2)Se/他ドラム出荷金額	12
4)OPCベルト	13
(1)生産数量 (2)OPCベルト出荷金額	13
4.地域別感光体生産数量推移	14
1)地域別全体生産量推移	14
5.地域別・拠点別感光体生産数量推移	15
1)日本拠点	15
2)米国拠点	16
3)欧州拠点	16
4)中国拠点(香港含む)	17
5)AP拠点(日本/中国/香港以外地域)	18
【拠点別感光体生産割合(2015年見込)】	19
~日本拠点~	19
~米国拠点~	20
~欧州拠点~	21
~中国拠点~	22
~AP拠点(日本/中国/香港除く)~	23
6.純正向け/非純正向け出荷推移	24
1)全体動向	24
2)純正向け感光体のメーカー別生産推移	25
3)非純正向け感光体のメーカー別生産推移	28
7.ハードウェア対応別感光体出荷推移	31

1) 全体動向	31
2) 2014 年における対応ハードウェア別感光体出荷割合とサードパーティ割合	32
8 . 感光体メーカーによるセットメーカーへの供給アライアンス、及び供給量	33
1) 2014 年全体	33
9 . 新興国の動き	36
10 . 感光体における生産/販売価格への取り組み	41
11 . 耐久性に対する取り組み	42
12 . 生産ラインと取り組み	43
13 . 素管メーカーから見た感光体市場（感光体向け素管市場）	44
1) 感光体用アルミ素管メーカー別出荷推移	44
2) メーカー別・別感光体用アルミ素管出荷推移	45
3) 仕向けメーカー別感光体用アルミ素管出荷状況（2014 年）	46
4) 感光体用アルミ素管のコストについて	47
5) 感光体用アルミ素管生産地域別拠点一覧	48
6) 個別メーカー動向	49

共通項目

サイズ別感光体用アルミ素管生産量	仕向けメーカー別感光体用アルミ素管生産量
現状の動向について	仕向けメーカーからの要求 今後の動向について

(1) 昭和電工	49
(2) 古河スカイ	52
(3) 神戸製鋼所	55
(4) 三菱樹脂	58
(5) 日軽金アクト	61
(6) 住軽テクノ	64
(7) 富士電機	67

B.メーカー個票編..... 71

共通項目

- 1) 種類別生産推移（2010 年～2016 年予測） (1) 生産数量 (2) 出荷金額
- 2) 生産拠点別生産数量推移
- 3) 純正品向け/非純正品向け生産数量推移
- 4) 生産拠点概要と主な仕向け先、増強/減産の方向性
- 5) 今後に向けた感光体開発方向性
 - (1) 価格 (2) サイズ (3) 耐久性 (4) 安定性 (5) 生産ライン

1 . キヤノン	71
2 . リコー	77
3 . 富士ゼロックス	83
4 . コニカミノルタ	88
5 . 京セラ (ドキュメントソリューションズ)	93
6 . シャープ	99
7 . 三菱化学	104
8 . 富士電機	109
9 . その他日本メーカー (パナソニックシステムネットワークス)	114
10 . Hanp (韓国)	118
11 . Park&OPC (韓国)	123
12 . AlphaChem (韓国)	128
13 . CEMS (韓国)	133
14 . NeoPhotocon (韓国)	138
15 . Sindoh (韓国)	143
16 . Sinonar (台湾)	148
17 . Greenrich (台湾)	153
18 . InkLab (香港)	158
19 . Handen (中国)	163
20 . PreciseOpto (中国)	168
21 . GoldenGreen (中国)	173
22 . 広州 Photoconductor (中国)	178
23 . OPC Technology (インド)	183
24 . Xerox (USA)	188
25 . Lexmark (USA)	193
26 . AEG (ドイツ)	198
27 . その他海外メーカー	203

【お申込書】

資料名	～ 2015 年版電子写真消耗品生産動向分析レポート～ 『全世界市場における感光体の生産動向調査』
貴社名	
所属	
お名前	
住所	
TEL/FAX	

上記欄にご記入の上、FAX、または郵送、E mailにてお送り下さい。
お電話でのお問い合わせでも結構です。

なお複数部のご注文の場合は、2冊目よりコピー手数料代としまして、
1冊につき20,000円加算させていただきます。

部分購入の場合も、同じ手数料をさせていただきます。

TEL：03 - 3526 - 6461 / FAX：03 - 3526 - 6462

E mail：interwatch@iwco.co.jp

担当者： 電子写真消耗品プロジェクトチーム